

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・ 27 〉	いわき市立	湯本第一	中学校		
〈実施日〉	平成 28 年 2 月 日 ()					
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。					
①	理科	2	学級活動	3 総合的な学習の時間	4	その他 ()
〈実践内容〉	○中学3年 単元5 「科学技術と人間」 第1章 「いろいろなエネルギー」					
○本時のねらい	「放射線」「放射能」「放射性物質」などの用語や「透過性」といった放射線の性質に関する基礎的な知識を理解することができる。また、放射線の飛跡の観察から放射線が身近にあることを実感する。					
○学習の流れ	1 放射線について知っていることを話し合う。 2 「放射線」「放射能」「放射性物質」の違いについて知る。 3 放射線の飛跡を簡易霧箱で観察する。 4 「透過性」「遮へい」などの説明を聞き、放射線の特徴を理解する。 5 本時のまとめ、感想を書く。					
〈成果〉	○霧箱を使って放射線の飛跡を観察したことで、放射線を目で見て確認することができ、放射線が身近にあることを実感することができた。 ○ニュースなどで聞いたことがあるがあいまいになっていた用語について理解することができた。					
〈課題〉	○手作りの簡易霧箱では光のあてかたなどで、飛跡がよく見えない班もあり支援が必要である。 ○放射線に関する授業に対して生徒はもとより保護者に理解をもらえるかが不安であった。福島原発事故による影響があるなか、理科ではいかに科学的に理解させられるかが課題である。					
資料作成担当者職(教諭)氏名	(吉田 夕佳)			学校電話番号	(42-4158)	

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)